

IC (1.2歳児)



自然との触れ合いを楽しんでいる子どもたち。耳を澄ますと聞こえる鳥の声、幼児棟の前を通ると金木犀の匂いを感じ、子どもたちとお話をしながら秋の訪れを感じています。

感染症が流行する季節でもあるので体調管理に気を付けながら、過ごして行きたいと思います。



地震を想定した避難訓練を行いました！

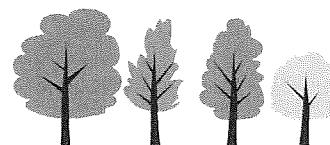
10月12日10時から避難訓練が始まり、放送をしっかりと聞いていたICの子どもたち。

大きな音にも驚かないようになってきました。

訓練なので先生のお話を聞き、外階段を使い石井戸公園へ避難。防災頭巾や避難靴を履く事を先生が伝えると2歳児さんは「こう？」と確認しながら自分で履いてみようとする姿がありとても頼もしく、1歳児さんは手に取り被ってみよう・履いてみようとする姿が見られます。

園外に出る時には必ずお友だちと手を繋いで歩く、道路では手を離さない事を約束しています。お友だちと手を繋ぐことや一緒に歩きたい時期の子どもたち。日頃の園生活の中で散歩などを通してたくさんの経験ができる良いなと思います。

また、これらは自分の生命を守ることに繋がっていくので私たちもより一層安全に注意しながら子どもたちと楽しく戸外活動をしていきます。



異年齢での関わり

気温も下がり過ごしやすい季節となりました。

子どもたちは散歩に出掛ける幼児さんに挨拶をし、一生懸命手を振り興味津々の様子です。園庭ではだいちさんと一緒に過ごしています。泣いている子やICの子ども達に興味を示している子に「どーしたの？」「悲しいの？」と声を掛けてくれたり、そっと頭を撫でてくれたり、異年齢保育ならではの小さなお友だちとの関わり方が見られます。春頃は玩具をお友だちに取られてしまい泣いたり、怒ったりし思いを伝えましたが、最近では「今〇〇ちゃんが使っていたんだよ、使ってたら取らないんだよ～」と理由を丁寧に伝えてくれています。事実を伝えながらも子どもたちが感じ考えた思いを受け止め小さなお友だちへの関わり方などを知れる機会を作っていました。

「いっぱい手を使おう」
「ひとりでするのつたってね」

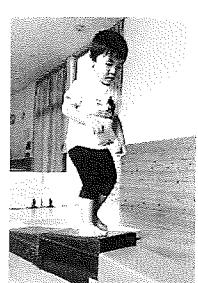
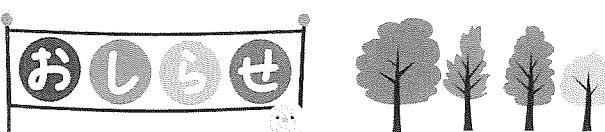
ICの運動について

どの子どもも、環境の全てを吸収しますが運動も同じです。子ども達は、環境から動きのパターンや自己表現を学びます。運動は言葉で教えることや、強制することはできませんので、私たち大人はお手本になるように様々な動きを紹介しています。歩く、走る、止まる、跳ぶ、登る、しゃがむ、潜り抜ける、ぶら下がる、滑る、押す等、様々な基本的な動きと一緒に楽しみながら伝えています。

また、身体を大きく動かす粗大運動だけが運動ではなく、指先を使う活動も「運動」の一つです。
“今は指先を使いたい”という時期があるのもICの子ども達の特徴です。（微細運動）

そして、動く自由があること、関わる自由があることが大切になります。そのため、散歩、園庭、室内など、どこで何をするのかを子ども達一人一人が選んで活動しています。

11月のポートフォリオは粗大運動中心にご紹介します。



◎調整しやすい綿素材の衣服のご用意をお願いします！

保育室は床暖房を完備しておりますので、真冬でも暖かく過ごせます。裏起毛やヒートテック素材の物、長袖の肌着は熱くなりすぎてしまいます。

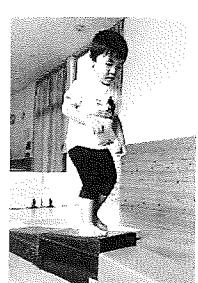
◎汚れても良いフードなしの上着

登園時に着用していた上着を散歩や園庭遊びを行ないます。外遊びでは例年かなり汚れる事が予想されます。

ご協力よろしくお願い致します。

◎フープ紐を付けて下さい！

上着掛けに自分で上着がかけられるようにフープ紐を付けて頂くようご協力お願い致します。（タグ部分にゴム紐を付けて頂く方法が簡単です）



◎運動遊びについて、ポートフォリオで配信します！

今年度もポートフォリオにて日々の運動遊びの様子をお伝えさせて頂きます。

◎引き取り訓練について

11月10日(金)16時から引き取り訓練を行います。実際に地震が起きた事を想定してこの機会にご家族で集まる場所や仕事場から園までどのくらいかかるのかを歩いてみる、防災グッズを点検する、より安全な避難先などを確認してみてください！

